

検査値からわかる副作用の重症度分類（市大センター病院 ver.）

| 副作用項目 | 副作用の重症度 | | | | |
|-------------------|---------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|------------------------|
| | Grade 1 (軽度) | Grade 2 (中等度) | Grade 3 (重度) | Grade 4 (生命を脅かす) | |
| 白血球減少 | / μ L | <3,300–3,000 | <3,000–2,000 | <2000–1000 | <1,000 |
| 好中球数減少 | / μ L | <2,000–1,500 | <1,500–1,000 | <1,000– 500 | < 500 |
| 貧血 | g/dL | <13.8–10.0 | <10.0–8.0 | <8.0；輸血を要する | 生命を脅かす ；緊急処置を要する |
| 血小板減少 | 10^4 / μ L | <18–7.5 | <7.5–5.0 | <5.0–2.5 | <2.5 |
| AST増加※ | U/L | >30–90 | >90–150 | >150–600 | 600< |
| ALT増加※ | U/L | (男) >42–126 (女) >23– 69 | (男) >126–210 (女) > 69–115 | (男) >210–840 (女) >115–460 | (男) 840< (女) 460< |
| T-Bil増加※ | mg/dL | >1.5–2.25 | >2.25–4.5 | >4.5–15 | 15< |
| クレアチニン増加 | mg/dL | (男) >1.07–1.605 (女) >0.79–1.185 | (男) >1.605–3.21 (女) >1.185–2.37 | (男) >3.21–6.42 (女) >2.37–4.74 | (男) 6.42< (女) 4.74< |
| 高カリウム血症 | mmol/L | >4.8–5.5 | >5.5–6.0 | >6.0–7.0 | 7.0< |
| 低カリウム血症 | mmol/L | <3.6–3.0 で症状がない | <3.6–3.0 で症状がある；治療を要する | <3.0–2.5 入院を要する | <2.5 生命を脅かす |
| 高カルシウム血症 (補正值) | mg/dL | >10.1–11.5 | >11.5–12.5 症状がある | >12.5–13.5 入院を要する | 13.5< 生命を脅かす |
| 低カルシウム血症 (補正值) | mg/dL | <8.8–8.0 | <8.0–7.0 症状がある | <7.0–6.0 入院を要する | <6.0 生命を脅かす |
| 低ナトリウム血症 | mmol/L | <138–130 | 125–129 症状がない | 125-129で症状がある 120-124で症状の有無は不問 | <120 生命を脅かす |
| 低マグネシウム血症 | mmol/L | <2.0–1.2 | <1.2–0.9 | <0.9–0.7 | <0.7 生命を脅かす |

※ ベースラインが異常値の場合、別途に規定あり。

Common Terminology Criteria for Adverse Events (CTCAE) ver.5.0 を参考に一部改変

身体状況からわかる副作用の重症度分類（市大センター病院 ver.）

| 副作用項目 | 副作用の重症度 | | |
|----------|---------------------------------|--|--|
| | Grade 1 (軽度) | Grade 2 (中等度) | Grade 3 (重度) |
| 食欲不振 | 食欲は落ちたが食生活に変化なし | 体重減少・栄養失調を伴わない摂取量減少、 経口栄養剤による補充が必要 | 顕著な体重減少 or 栄養失調を伴う 経管栄養/点滴加療を要する |
| 体重減少 | ベースラインより5-10%の減少 治療は要さない | ベースラインより10-20%の減少 栄養補給が必要 | ベースラインより $\geq 20\%$ の減少 経管栄養/点滴加療を要する |
| 悪心 | 吐き気あり、食生活は変化なし | 吐き気あり、体重減少・栄養失調・脱水を 伴わない食事量の減少 | 吐き気あり、食事・水分が殆どとれない 経管栄養/点滴加療/入院を要する |
| 嘔吐 | 治療を要さない | 外来での点滴加療を要する ；内科的治療を要する | 経管栄養/点滴加療/入院を要する |
| 口腔粘膜炎 | 症状がない or 軽度の症状 食事の変更はない | 経口摂取はできるが、痛み・潰瘍あり 食事の変更が必要 | 強い痛み 経口摂取できない |
| 下痢 | 通常回数+3回以内の増加 | 通常回数+4-6回の増加 | 通常回数+7回以上の増加 |
| 下痢 (ストマ) | ベースラインより排泄量の軽度増加 | ベースラインより排泄量の中等度増加 身の回り以外のことに影響あり | ベースラインより排泄量の高度増加 身の回りのことができない |
| 便秘 | 不定期 or 間欠的な症状 下剤や食事の工夫が必要 | 定期的な下剤の使用、持続的な症状 身の回り以外のことに影響あり | 下剤を使用しても便がでにくい 身の回りのことができない |
| 末梢神経障害 | 違和感がある | 中等度の症状 身の回り以外のことに影響あり | 高度の症状 身の回りのことができない |
| 倦怠感 | だるさ or 元気がない | だるさ or 元気がない 身の回り以外のことに影響あり | だるさ or 元気がない 身の回りのことができない |
| 疲労 | 休めば疲れがとれる | 休んでも疲れがとれない 身の回り以外のことに影響あり | 休んでも疲れがとれない 身の回りのこともできない |
| 手足症候群 | 痛みのない皮膚の腫れ、赤み、 爪の変形・色素沈着、違和感 | 痛みのある皮膚の赤み・腫れ・ 水ぶくれ・出血・爪の著しい変形や脱落 身の回り以外のことに影響あり | 強い痛みを伴う皮膚のはがれ・ 水ぶくれ・出血・ただれ・かさぶた 身の回りのことができない |